

言語行動コミュニケーション③

謝罪と感謝の関係

令和2年10月19日(月)

教養科目「異文化コミュニケーションB」第5回

担当教員:新井保裕(外国語学部)

今回の流れ

0. 前回の課題

1. 謝罪と感謝の関係①

2. 謝罪と感謝の関係②

3. 本日の課題

参考文献

0. 前回の課題

近年(ただし2013年)、上司に仕事を頼まれると、「ありがとうございます」と返事して対応する若い人が増えているという。なぜこの場で「ありがとう」という感謝の表現が用いられるのか。本日の講義も参考にして、自分なりに考えてみよ。また自分が使用するかどうか、あるいは使用されたとき理解できるかどうかも含めて回答しなさい。2020年現在は「ありがとうございます」をこのような場面で使うかという比較をしてもよい

また自分が使用するかどうか、あるいは使用されたとき理解できるかどうかも含めて回答しなさい。

(自分が専攻する、あるいは知っている、使用している方言や外国語における感謝表現で、上記のような使われ方をするかどうかを回答してもよい。)

0. 前回の課題

経年変化(使用者)

2013年: 4人／36人 **11.1%** (O女子大学2年生)

2015年: 3人／25人 **12.0%** (T大学3~4年生)

2016年: 2人／12人 **16.7%** (T大学3~4年生)

2017年: 13人／38人 **34.2%** (G大学1~4年生)

※2018年は履修者が6名であったためデータから除外

2019年: 4人／35人 **11.5%** (G大学1~2年生)

2020年前期: 13人／29人 **46.4%** (G大学1~4年生)

2020年後期: 28人／65人 **43.1%** (B大学2~4年生)

0. 前回の課題

この結果をどのように解釈するか（講師なりの解釈：2013～2019年）

2017年まで→年々増加する傾向があるが、過半数を越えることはなく
言語の意味変化として定着するにはまだ至ってない

言語の変化はS字カーブに従うとされる

例：ら抜きことば（形態変化）

2019年→2015年水準まで減少。過半数を越えずにこの用法は衰退していると考えてよさそう

2017年をおそらくピークとした上に凸のカーブ

参考例：流行語、死語（「死用法」と言えるかもしれない）

0. 前回の課題

しかし2020年、使用率が過去最大の40%代に上昇

→もちろん本調査は年によって大学も学年も違う、簡単な調査

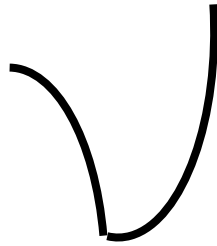
以下のような可能性が考えられる

例:

- ・**大学や学年分布**によって使用率に差が出る？
 - ・2019年度の履修者は「**たまたま**」、日本全体の使用様相とは異なる人が多く集まった(**外れ値**)？
 - ・2020年度の履修者が外れ値である可能性もある(ただし2大学)
 - ・**コロナ禍という社会情勢**で、仕事の「有難み」が増加
- ⇒「ありがとう」の意味の変化について、引き続き考えてみよう

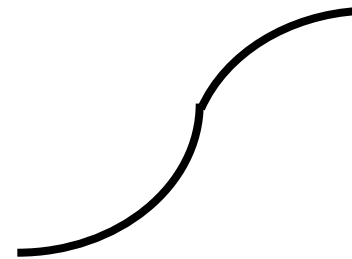
0. 前回の課題

2019年データが全体傾向と類似の場合



→「ありがとう」は、短期的には増減しつつも**長期的には意味が変化**

2019年データが全体傾向と相違の場合



→「ありがとう」は、**S字カーブに則って意味が変化**

0. 前回の課題

また「理解できる」は41名／65名＝63.1%と過半数を越える

- ・ **仕事**を任せてくれてありがとう【(物理的な)授受】
- ・ **信頼**してくれて、頼りにしてくれてありがとう【(精神的な)授受】
- ・ **挑戦**する機会を与えてくれてありがとう【(精神的な)授受】
- ・ 上司が自分に仕事を振り分けてくれた過去のことに対してありがとう
(日本語の**後傾性**の挨拶と関連?)
- ・ 自分のほかにも働く人が多くいるので嬉しくなくてもありがとう
- ・ 普段から「ありがとう」という**習慣**(発することが**丁寧、謙虚**そして**安心感**?)

0. 前回の課題

相手との関係や内容の重要性によって使いやすさが変わるという意見

- ・相手を尊敬していたり、かなり目上のときは使える
- ・仕事の内容が重要なときは言いやすい(仕事の軽重)

※「書類をシュレッダーにかけて」に対しては言えない

「ありがとう」の代わりに用いる表現

- ・承知しました／かしこまりました／了解しました
- ・やらせていただきます

(～させる【使役】+～ていただく【受益】【謙譲】)

0. 前回の課題

社会情勢との関わりを指摘する回答(一部編集含む)

- ・2000年代はリーマンショックなどで不景気になり、「仕事を任せてくれてありがとう」と考える人が増えたのではないか
 - ・2010年代は景気が回復し、また個人主義が日本でも浸透。一定の所得があれば、それ以上、上のポジションを狙わない傾向があると言われ、仕事の授受に「ありがとう」を用いないのでは
 - ・2020年は新型コロナウイルスの影響で不景気になり、また「ありがとう」の使用が増えるのでは
- 「**言語は社会を映す鏡**」、言語を通じて社会が見えてくる

0. 前回の課題

自身が専攻する、あるいは知っている外国語との比較

- ・フランス語では中に入るときドアを開けて押さえてくれたら「Merci」と言ったほうが良いと聞いたことがある
- ・英語で「Sure」「OK」は言えても「Thanks」は言いづらい
- ・(感謝表現とは異なるが) 韓国アイドルはファンによく「사랑해 salang-hey」と言っている
- ・アルバイト先のベトナムの人は無言で承諾

⇒身近な感謝表現一つをとってもその使い方にはさまざまな要因が絡み、また別の言語表現との関連が見受けられる(狭義の言語だけでなくコミュニケーションを学ぶ意義)

1. 謝罪と感謝の関係①

ここまでの講義では謝罪行動と感謝行動を見てきた

→日本では挨拶という**定型表現**が重要

日本語「**すみません**」は謝罪でも感謝でも使える

ほかにも、「恐れ入ります」「悪い」など

⇒**謝罪と感謝の関係**について考える

1. 謝罪と感謝の関係①

・土居1971(三宅2011より再引用)

「すまない」は日本人の**甘え**の姿勢と関連

感謝だけでなく謝罪するのは、そうしないと相手が非礼と取り、相手の好意を失うと恐れるため。相手の好意を失いたくなく、今後も甘えたいため「すまない」ということばを頻発

1. 謝罪と感謝の関係①

一つのことばが謝罪も感謝も表現する現象は中世にまでさかのぼる

中世後期:「慮外」

江戸時代:「はばかり」

明治:「すみません」「恐れ入ります」

大正・昭和:「すみません」

(西村1981:三宅2011より再引用)

1. 謝罪と感謝の関係①

「すみません」が使えない感謝場面はどのようなものが考えられるか

・「おめでとう」と**祝福**を受けたとき

・「ご愁傷さまです」のような**お悔やみ**を受けたとき

・店員が買い物客から**支払い**を受けたとき

→感謝を言う対象者に**負担**や**不利益**が全く生じていない場合

⇒謝罪表現を感謝の意味で使えるのは、「**相手に負担**を生じさせる／相手に負担を生じさせたと**話し手が解釈**する」場合(三宅2011)

1. 謝罪と感謝の関係①

・金田一1987(三宅2011より再引用)

「ありがとう」や「すみません」などの感謝表現、謝罪表現をまとめて「**補償**のあいさつ」

「ある社会的な関係にあるもの同士の間で、何らかの不均衡が、どちらかの責任において生じてしまった時、それを**補正**するもの」

1. 謝罪と感謝の関係①

謝罪と感謝が共通するのは日本語だけではない

	感謝	謝罪
英語	A: Thanks a lot. B: Not at all.	A: I'm sorry. B: Not at all.
仏語	A: Merci beaucoup. B: Pas de quoi.	A: Pardon. B: Pas de quoi.
日本語	A: ありがとうございます。 B: どういたしまして。	A: どうもすみません。 B: どういたしまして。

⇒謝罪と感謝の感覚には共通する心理があり、その心理が交わる接点に“Indebtness”「借り」（Coulmou1981: 三宅2011より再引用）

2. 謝罪と感謝の関係②

未解明の問題

- ①謝罪表現は実際にどの程度感謝の意味で使われているのか
- ②「借り」の気持ちが強ければ強いほど謝罪表現は増えるのか
- ③相手との親疎関係は、謝罪表現の現れ方に影響を与えるのか
→日本とイギリスを対象に調査分析

2. 謝罪と感謝の関係②

「それぞれの**場面**で**相手**に対して、**どのような気持ち**を持って**どのようなこと**を言うと思いますか」

日本語話者122名、イギリス英語話者101名の青年層にアンケート調査(三宅2011:調査は1991年)

相手...①指導教員、②父、③母、④男友達、⑤女友達、⑥見知らぬ人

気持ち...①強い感謝の気持ち、②やや感謝の気持ち、

③特に感謝や謝罪の気持ちはないが、挨拶として何か表したい、

④やや謝罪の気持ち、⑤強い謝罪の気持ち、⑥その他

言葉...自由回答

2. 謝罪と感謝の関係②

「それぞれの場面で相手に対して、どのような気持ちを持ってどのようなことを言うと思いますか」

場面...①自分の強い利益や喜びになることを相手が好意でしてくれた(プレゼント)

②自分の軽い利益や喜びになることを相手が好意でしてくれた

(買い物ついでに何かを買ってくる)

③人間関係を保つために当然と思われる親切や職務としてのサービスを受けた

(塩をとってもらう)

④相手の軽い負担や迷惑になることを自分がした(新聞を濡らす)

⑤相手の強い負担や迷惑になることを自分がした(車を傷つける)

⑥相手の負担や迷惑になることを自分が頼むか相手が好意でしてくれた

(レポートを手伝ってもらう)

2. 謝罪と感謝の関係②

結果

・気持ちについて

①日本語話者の方がイギリス英語話者よりも謝罪心理場面と考える場面が多い

②イギリス英語話者の方が日本語話者よりも挨拶心理場面と考える場面が多い

例: コーヒーをこぼして男友達／女友達が置いていた新聞が濡れてしまった

2. 謝罪と感謝の関係②

結果

- ・言葉について

イギリス英語話者: **心理と言葉が基本的に一致**

⇔ 日本語話者: **謝罪表現が感謝にも多く使われる**

※特に**指導教員、見知らぬ人**に対して多い

2. 謝罪と感謝の関係②

指導教員に対して

- ・学生の研究に役立つ論文をコピーしてくれた
 - ・お茶を入れてくれる
 - ・エレベーターのボタンを押してくれる
- 負担の大きさは関係ない？

見知らぬ人に対して

- ・通行人がお金を拾ってくれる
 - ・カメラ店で情報を丁寧に教えてくれた
- 知り合いでないのに期待以上のことをしてくれたから？

2. 謝罪と感謝の関係②

どうして日英でこのような違いが生じるのか

→指導教員も見知らぬ人も、話し手から見れば「距離のある人」

⇒日英で重視される要因が異なる

英語話者：相手の負担の軽重、自分の利益の大小、借りの有無

日本語話者：上記要因＋社会的関係（親疎、上下）

これが謝罪と感謝の「混合」の原因

2. 謝罪と感謝の関係②

この三宅2011の調査は20年以上前に行われたもの

最近の日本人は果たしてどうなのか

2011年に関西の女子大学学生146名を対象にアンケート調査、さらに
先行研究と比較(松尾2011)

※上記論文は卒業論文が元となったもの、調査詳細は省略

2. 謝罪と感謝の関係②

結果

①「ありがとう」:様々な場面で使用

「ごめん」:親しい人の場合

「すみません」:親しくない人の場合

②負担度が大きい依頼の場合、「ありがとう」は使われにくい

親しい人の場合:「ごめん」

親しくない人の場合:「すみません」

2. 謝罪と感謝の関係②

結果

③20年前に比べて「すみません」の使用増加

→「すみません」には相手を気遣う意味がある

「周囲への気遣いを決して欠かせないが、表現力が必ずしも十分ではない若者にとって用いられやすい表現ではないか」と説明

皆さんの語感と比較してみるとどうなるか

地域差や学校差、性別差などもあり得る

3. 本日の課題

本講義で紹介した松尾(2011)の研究成果について、あなたの語感も踏まえて、批評してみなさい。20年前より「すみません」が多く用いられるのは、「表現力が必ずしも十分ではない若者が周囲への気遣いを示すため」と述べられるが、果たして本当だろうか。「表現が必ずしも十分ではない」「周囲への気遣いを示すため」の二箇所について同意するかしないかも明記しなさい。

参考文献

任栄哲・井出里咲子(2004)『箸とチョッカラク ことばと文化の日韓比較』大修館書店

金田一秀穂(1987)「お礼とお詫びの言葉」『月間言語』16

土居健郎(1971)『「甘え」の構造』弘文堂

西村啓子(1981)「感謝と謝罪の言葉における「すみません」の位置」『日本文学ノート』16

松尾祐加(2012)「感謝表現使い分けの要因」『武庫川女子大学言語文化研究所年報』23

三宅和子(2011)『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』ひつじ書房

Coulmou, Florian(2001) 'Poison to Your Soul' "Conversation Routine"
Mouton